



第74回日本皮膚科学会中部支部学術大会
イブニングセミナー3

進化する アトピー性皮膚炎のかゆみ治療

講演1

アトピー性皮膚炎の 病態から考えるIL-31の役割

座長 波多野 豊 先生 大分大学医学部 皮膚科学講座 教授

演者 中島 沙恵子 先生 京都大学大学院医学研究科
炎症性皮膚疾患創薬講座 特定准教授

講演2

アトピー性皮膚炎治療において クリニックが担う役割を考える

座長 川上 民裕 先生 東北医科薬科大学医学部
皮膚科学教室 主任教授

演者 三上 万理子 先生 医療法人けいしん会
横浜西口菅原皮膚科 院長



2023年10月28日 土
18:15-19:15

ハイブリッド
開催

第3会場 国立京都国際会館
1F Room D

〒606-0001 京都府京都市左京区岩倉大鷲町422

共催:第74回日本皮膚科学会中部支部学術大会 / マルホ株式会社

アトピー性皮膚炎の病態から考えるIL-31の役割

中島 沙恵子 先生 京都大学大学院医学研究科
炎症性皮膚疾患創薬講座 特定准教授

アトピー性皮膚炎は、増悪と寛解を繰り返す、そう痒のある湿疹を主病変とする慢性炎症性皮膚疾患である。アトピー性皮膚炎の発症や増悪には、皮膚バリア機能障害、皮膚マイクロバイームや汗といった環境要因、フィラグリン機能喪失型変異に代表される遺伝素因などの様々な要素が関わっており、皮膚バリア機能障害、アレルギー炎症、かゆみの3つの要素が中心となり病態を形成する。アトピー性皮膚炎の病態において、Th2細胞から産生されるサイトカインであるIL-4、IL-13、IL-31がかゆみの誘導に重要な役割を果たす。IL-31はアトピー性皮膚炎の病変皮膚で発現が上昇していること、また血清IL-31濃度が皮膚炎の重症度と正の相関を示すことが報告されている。IL-31は感覚神経上のIL-31受容体に直接作用してかゆみを誘導し、アトピー性皮膚炎の病態において重要な役割を果たしていることが知られる。本講演ではアトピー性皮膚炎の病態におけるIL-31が果たす役割を、エビデンスや実際の症例を交えて紹介する。

ご略歴

2003年 大阪医科大学(現 大阪医科薬科大学)医学部卒業
2012年 京都大学大学院医学研究科博士課程卒業、医学博士号取得
日本学術振興会特別奨励研究員(PD)
2015年 米国NIH、NIAID客員研究員
2017年 京都大学大学院医学研究科皮膚科学教室 助教
2020年 京都大学大学院医学研究科皮膚科学教室 講師
2021年 京都大学大学院医学研究科 炎症性皮膚疾患創薬講座(皮膚科兼任) 特定准教授



アトピー性皮膚炎治療においてクリニックが担う役割を考える

三上 万理子 先生 医療法人けいしん会
横浜西口菅原皮膚科 院長

アトピー性皮膚炎は患者の悩みが多岐にわたる疾患であり、日々の診療において、患者の声に耳を傾けることは、治療を行う上で非常に重要である。アトピー性皮膚炎のかゆみや皮疹など、日常生活における問題点は患者に確認しないとわからないことが多い。それらを聞き取るためにはAtopic Dermatitis Control Tool(ADCT)、Numerical Rating Scale(NRS)、Eczema Area and Severity Index(EASI)などによるアトピー性皮膚炎の重症度評価に加え、患者の悩みは何であるかをPatient Reported Outcomes(PRO)評価や、詳細な問診などを用いて、把握することが求められる。特にかゆみは疾病負荷にかかわる症状であり、特に重視する必要があると考えている。ヒト化抗ヒトIL-31受容体Aモノクローナル抗体製剤であるミチーガは痒みのメディエーターであるIL-31のシグナルを抑制することで、アトピー性皮膚炎のかゆみに対して有効性が認められている。本講演ではアトピー性皮膚炎治療におけるかゆみの重要性とミチーガの臨床経験について概説する。

ご略歴

神奈川県皮膚科医会 幹事	1997年	東京女子医科大学卒業
横浜市皮膚科医会 常任幹事		同大学糖尿病センター内科入局
横浜市立大学大学院 医学研究科 環境免疫病態皮膚科学教室 客員講師	1999年	横浜市立大学医学部皮膚科入局
東京女子医科大学皮膚科 非常勤講師		横浜市立大学病院、横浜市立市民病院、
東京薬科大学薬学部 医療薬学科 臨床微生物学教室 客員研究員		国立相模原病院、など勤務
帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科 非常勤講師	2006年	医療法人けいしん会
日本ワンヘルスサイエンス学会 理事		横浜西口菅原皮膚科 院長



本セミナーは事前登録制です

本セミナーの参加をご希望の場合(WEB開催含む)は、大会WEBサイトよりお申し込みください。

第74回日本皮膚科学会中部支部学術大会 [検索 cjda74.jp/](https://www.cjda74.jp/)



●本セミナー・ご講演に関するお願い

本セミナー・講演中の録音、録画、カメラ撮影、スクリーンショットはご遠慮ください。また、不正に撮影された写真等をインターネット(Twitter等)にアップロードすることも禁止させていただきます。ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



LINE公式アカウント

マルホLink®



知りたい情報が
すぐに見つかる



右の二次元コードをスキャンして
今すぐ友だち登録!

